

とき

vol.32

# 少林寺拳法県大会で 最優秀賞！

川村 直也君  
(福島・端、福島中1年、写真右)  
前田志津子さん  
(福島・端、写真左)



大会で行われた本部の田中先生と石井先生の模範演武の様子



前田志津子さんと川村直也君が7月6日、西海市で開催された「第31回少林寺拳法長崎県大会」で最優秀賞に入賞しました。

同大会には、県内から1,000人が参加し、組演武・団体演武・単独演武の各部門で、決められた時間内に基本の型のキレを競ったり、組手の勝敗などを競いました。前田さんは単独演武・高校一般女子段外の部、川村君は単独演武・中学生有段の部に出場し、見事に最優秀賞に選ばれたものです。

2人は少林寺拳法北松福島支部(末武正男支部長)に所属。末武さんの指導の下、毎週月曜日と木曜日に支部道場と福祉センターで、小学生以下は午後6時30分から8時、一般は午後8時から9時30分まで、少林寺拳法の基本技や二人一組で技を磨く相対などの練習をしています。

前田さんは「大会では練習不足もありましたが、緊張しやすいので平常心を心掛け、気合を出すことによって技に集中できました。今は茶帯なので難しいかもしれませんが、11月に行われる黒帯への昇段試験を目標に頑張ります」と話し、川村君は「大会では、いつもどおりにやろうと心掛けて頑張りました。来年の県大会では技が難しくなりますが、最優秀賞を目指したいです」と話していました。

また、指導を行う末武さんは「前田さんは2007年4月入門で1年と4か月の経験があり、今年中に初段を取れるように練習で技を磨いていきたいです。川村君は中学生になっても体力が付き、技にキレが出てきました。少林寺の心得も理解できており、少林寺拳法に限らず将来は指導者を目指してもらいたいですね」と話していました。